

企業消防団員インタビュー

(写真左)

市川俊也さん

所属:南砺市消防団福光方面団太美山分団
職業:笹嶋工業株式会社 社員

(写真右)

川合直人さん

所属:南砺市消防団福光方面団北山田分団
職業:笹嶋工業株式会社 常務取締役



消防団協力事業所である笹嶋工業株式会社に勤務し、消防団員としても活動する市川さんと川合さんにお話を伺いました。

会社員と消防団員を両立

市川 消防団員だった義父の退団をきっかけに入団しましたが、地域の方々、団員同士、ほかの分団など、人とのつながり、連携の大切さを実感する場面が多くありました。社員としては土木の現場で現場代理人を任されており、一人で業者の方々と工事を進めていかなければならないのですが、地域で火災が起こった場合には、工事をほかの社員に任せて火災の現場に向かわなければならないこともあります。そういった有事に備えて上司と相談などができているのも、消防団協力事業所だからこそだと思います。



地域への思いを形にできる制度

川合 入札で加点されるなどの利点があることを知り、企業として消防団協力事業所の認定を受けましたが、地域の方々から地元へ貢献する企業として見ていただける、そういった点がむしろありがたいなと思うようになりました。やはり建設業の仕事には、地域の理解や協力が不可欠です。今では消防団協力事業所の認定に必要な全ての規定をクリアし、災害時の避難場所として社屋や駐車場を提供する協定を南砺市と結ぶようになり、社員の防災、地域貢献への思いも変わっていったと実感しています。

防災を通じ地域をよりよい方向に

市川 たしかに仕事の現場においても、災害に備える意識が高まったと思います。火災の場合、消火用の水源の確保が重要になりますので、工事の際も水がどこに流れているのか確認するようになりました。
川合 笹嶋工業は南砺市でも消防団員の多い企業ですが、もっと団員が増えると良いと思います。地元との接点が増えれば、様々な点で密に連携ができ、地域も企業もよりよい方向に進めるのではないかと思います。

個人的にも地域の方々に顔を覚えてもらい話す機会が増えたと思います

消防活動を通じて地域との関係もよくなっているんですね



裏面には、消防団の基本情報やお問い合わせ先などがあります。ぜひご覧ください。